

ふるさと研究ニュース

2021年秋号 第22号
文化財保護課
ふるさと研究グループ



芸術の秋、食欲の秋、読書の秋、そして、「所沢のことをなんでも知りたい！」秋!!
「ふるさと研究活動」では、秋以降いろいろな催しや展示を実施します。ぜひ、ご参加ください。

ふるさと研究講座 探求編

クローズアップ所沢 「ふるさととの音を訪ねて」

ふるさと研究講座“探求編”では通史から一歩踏み出し、一つのテーマを題材として掘り下げて学びます。今回は、「ふるさととの音」をテーマに全4回の連続講座を企画しました。日頃、聞き逃してしまう音に、足と心を止めてじっくり聞き入り、ふるさととの音の魅力を味わいます。所沢の新たな魅力に出会ってみませんか。

	開催日時	タイトル	講師
第1回	11月10日(水) 午後2時～4時	鉄道の音 -西武鉄道にかかわる音を楽しむ-	岡 徳康氏 (西武鉄道社員)
第2回	11月17日(水) 午後2時～4時	野鳥の音(声) -鳥たちの声に耳を傾けて秋の自然に 触れる-	大庭照代氏 (元千葉県立中央博物館 主席研究員)
第3回	11月27日(土) 午後2時～4時	お囃子の音 -重松流祭囃子のストーリーを知る-	小峯勝次氏(保存会会長)・ 重松流祭囃子保存会の 皆様
第4回	12月1日(水) 午後2時～4時	民俗芸能の音 -古くから伝わる語りの文化・説経節をきく-	三代目若松若太夫 (説経節浄瑠璃師)

会場：生涯学習推進センター(学習室201) 定員：先着40人 参加費:無料

申込：10月20日(水)から電話での受付開始。午前9時から午後5時(祝日休)

※4回出席できる方。第2回は航空公園を散策する時間あり(予定)。

星空観望会「双眼鏡で月食を観察しよう！」

2021年2度目の月食(部分)が、この秋に見られます。季節の星空とともに観察しませんか。

開催日時：11月19日(金)午後5時30分～7時

会場：生涯学習推進センターグラウンド 定員：30組60人(小学生1人と保護者1人で1組)

参加費：無料 申込：往復はがき10月14日(木)必着

往復はがきの往信裏面に[星空観望会・住所・児童氏名(ふりがな)・学校名・学年・
保護者氏名・電話番号]、返信表面に[〒・住所・保護者氏名]を明記し、下記へ。

〒359-0042 所沢市並木6-4-1 文化財保護課 宛

♪出た出た月が
えっ、月がかくれちゃった?!



冬期 企画展



昔のマチ場の賑わいと人々の暮らしに触れる貴重な機会!!

ところざわ繁盛記～町場のくらし展～

会期：令和3年12月14日(火)～令和4年2月27日(日)

午前9時～午後4時30分 月曜、祝日、年末年始休

会場：生涯学習推進センター 3階 企画展示室、常設展示室

所沢は江戸時代より三八の市が開かれ、物流の拠点、交通の要衝として繁栄し、明治・大正期には織物取引で賑わっていました。

旧町といわれている中心市街地付近には、多くの商家が建ち並び、料亭や旅館、職人の家も数多く存在していました。

そんな町場のくらしをとおして、所沢の歴史を探ります。



所沢の初荷風景
(明治末期頃・秋田芳浩氏所蔵)

アーネスト・サトウも所沢に来た!?

くふるさと研究市民トピックvol.22

アーネスト・サトウ(1843～1929)は、大河ドラマなどにも通訳として登場したイギリスの外交官で、後に駐日公使になるなど、日本に長期間滞在していました。その間、飯能などに行く経路地としてですが、所沢の地にも足を運び、その時のことを日記や日本旅行案内などに記しています。そこには、当時の所沢の風景がうかがえる描写がみられます。

1882(明治15)年5月17日、「所沢には三時四十五分に着いた。面白いことにこの辺りの家々で杉の皮で屋根を葺いているのは二軒のみで、大半は頑丈なインド風の倉庫のような形をしており屋根材は瓦であった。地区の境界線を通りし間もなく森を抜けてから扇町屋(現在の入間市)に向かう小道が左手に分岐する。」(*1)

飯能経由で正丸峠を越えて大宮へ行くルート紹介には、内藤新宿から所沢まで六里二十七町とあり、「内藤新宿を出た淀橋から所沢(旅宿、武蔵屋)まで馬車が往復している。所沢村の入口に大きな青銅製の地蔵がある。ここから飯能まで行く「俵」を簡単に得ることができる。」(*2)

さて、アーネスト・サトウのいう所沢村(明治14年所沢町と改称)の入口とは、どこだったのでしょうか。資料を調べてみると「今日の日吉町、住友銀行北の三角地に北向に唐金製の子育て地蔵の大仏」(*3)があったことや、日吉町と旭町(旧表記 現在の東町と御幸町)の境近くに「人力車停車場」(*4)の記載、「茶屋旅籠屋 武蔵屋幸次郎」(*5)の記載が見受けられます。これらの情報などから、推理するのも面白いかもしれません。アーネスト・サトウが、この道を通って飯能方面に向かったのかも、と明治に思いを馳せると感慨深いものがあります。

〈参考資料〉 *1…『日本旅行日記2』アーネスト・サトウ著/平凡社/1992年
*2…『明治日本旅行案内 中巻 ルート編[I]』アーネスト・サトウ編著/平凡社/1996年
*3…「所沢歴史余談」栗原仲道著 『所沢市史研究 第22号』所沢市教育委員会/1999年
(この子育て地蔵は、戦時中の金属回収により供出され、現在はありません)
*4…『埼玉県営業便覧』(明治35年刊の復刻)埼玉新聞社出版局 1977年
*5…『里正日誌 第7巻』自安政元年至安政六年 東大和市教育委員会/1995年
(上記の資料は、所沢図書館(*4・*5は本館のみ)で所蔵しています)

所沢市教育委員会 文化財保護課 ふるさと研究グループ

所沢市並木6丁目4-1 Tel:04-2991-0308 Fax:04-2991-0309 Mail:b29910308@city.tokorozawa.lg.jp